

**Beyond Limits. Unlock Our Potential.
To the Next Stage.**

**第2期スタートアップ・エコシステム拠点形成計画
(新規拠点都市用・追加修正版)**



**愛媛・岡山
連携の概要**



コンソーシアム等の名称：瀬戸内スタートアップコンソーシアム

愛媛と岡山の広域コンソーシアム形成の背景

愛媛・岡山を含む瀬戸内地域は、美しい自然と豊かな文化が織りなす太古より続く歴史の舞台であり、世界的にもその魅力が注目を集めているところですが、急速な人口減少などの影響により地域経済が衰退し、地域社会の持続的な発展にあたり前例のない深刻な課題が立ちはだかっている。

そういった環境の下、自然発生的に地域でイノベーションを伴ったビジネスに挑戦する起業家たちが集まり、地域固有のエコシステムを築き上げ、スタートアップを中核とするイノベーションを推進する動きが起こっていることに我々は強く共感するとともに、自治体を含む各ステークホルダーは起業家などのプレイヤーの挑戦をしっかりとサポートしていくこと、一緒になって挑戦していくことが使命であり、更には、その活動を増幅拡大していくことが社会のニーズとして求められていると考えている。

そこで、地域課題、社会課題に取り組む挑戦者を瀬戸内エリアとして全力で応援するため、エリアの特性と資源を活かした**社会実証フィールド**として、自治体が連携し、**面の支援を行う**ことで、愛媛・岡山発のスタートアップのカルチャーを作り、更には瀬戸内地域にそのカルチャーを拡大することを目指し、今回の共同申請に至った。

瀬戸内エリアの特徴・強み

▶豊かな自然資源と多様な産業集積:

山間部、平野部、沿岸部、島嶼部など多様な地理的・社会的な環境を有しており、古くから様々な産業(製造業、農林水産業、観光業など)が集積することで独自の経済圏として発展

▶広大な海洋フィールド:

国内有数の造船業が集積し、関連産業が発達。多島海かつ内海という特徴的な地形は養殖業にも適し、企業・大学の研究開発など、多様な海洋フィールドとしての可能性を秘めている

▶温暖で過ごしやすい瀬戸内海式気候と美しい景観:

年間を通して温暖で降水量が少なく、穏やかな気候は、暮らしやすく、農作物の栽培にも適している。また、多島美をはじめとする美しい自然景観は、観光資源として大きな魅力を持つ

▶緩く広がりのある地域間連携:

県や基礎自治体といった行政区分にとらわれず、緩やかでありつつも、価値基準の共有を広域に行うことが可能なエリア

ビジョン

多様な自然資源と産業が集積した**瀬戸内エリアを「巨大な実証フィールド」**として、プレイヤーの呼び込みと成長促進を行うことで、持続的なイノベーションと新たな産業の創出を目指す。

「**瀬戸内スタートアップコンソーシアム**」は、これまでに培ってきた支援体制と民間主体の先行的な取組を基盤に、今後、広域的な連携をさらに深化させ、スタートアップの成長促進と地域経済の活性化を一層推進する。



瀬戸内スタートアップコンソーシアムの形成

【現在地】

「瀬戸内エリア」という緩やかで、広がりのある連携を通じ、一体的な取り組みを進める上で、各地域の強みを活かした支援を行いながら、規模の拡大を進める。

具体的には、各県・市の既存コンソーシアムを分科会として位置付け、スタートアップ創出に向けた活動を行う。

さらには、BLAST SETOUCHI等、先行している民間ベースの取り組みとも合流する。

【3年後】

瀬戸内スタートアップコンソーシアムを正式に形成。広島県、香川県等の参画も視野に入れ、検討を進める。

【5年後】

広域ネットワーク型拠点形成計画認定を目指す。
※3年後時点での申請も検討。

具体的な取り組み(予定)

■各県・市の共創施設の連携

岡山の「ももスタ」、愛媛の「新第二別館官民共創拠点(2026春開所)」や、広島・香川等の各拠点のスタートアップ支援施設が相互連携したイベントやアクセラの実施

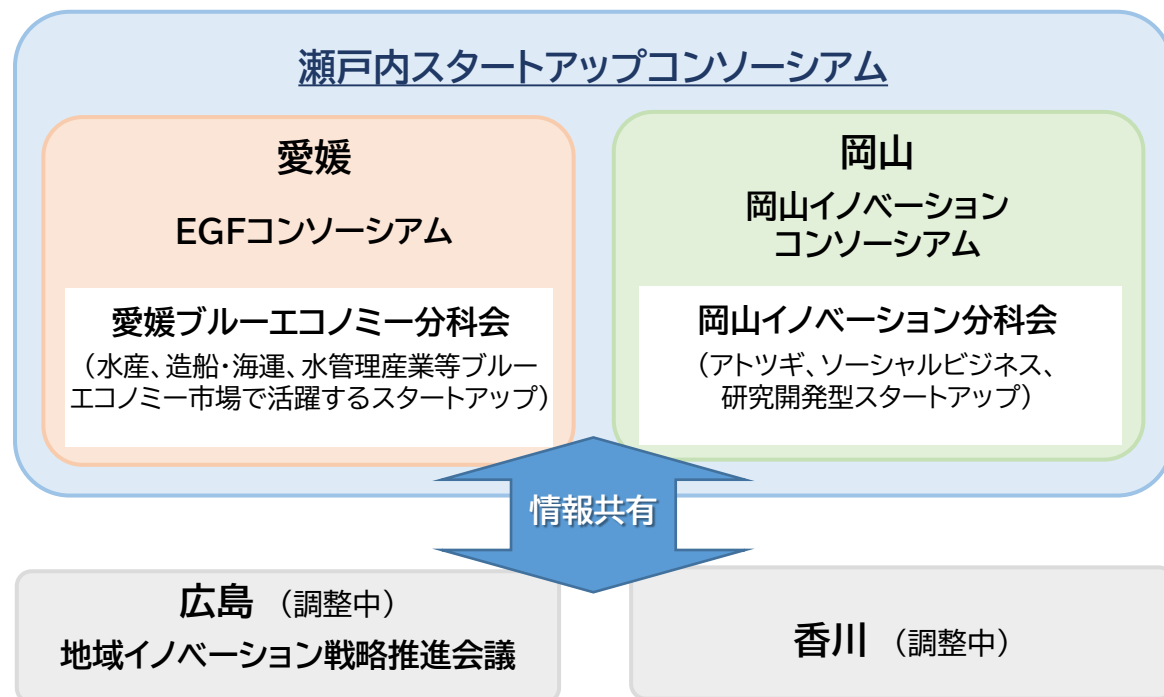
■スタートアップのニーズや成長段階に応じた支援メニューの開発・相互提供

スタートアップ支援メニュー開発の協力や、参加枠の相互提供、展示会共同出展等

■瀬戸内エリア内企業とスタートアップのマッチング支援

エリア内のスタートアップ、中小企業、大企業が参加する多様なオープンイノベーションの機会提供（マッチングイベントやピッチイベント）

瀬戸内スタートアップコンソーシアム形成イメージ



【事務局機能について】

瀬戸内スタートアップコンソーシアム形成に向けて、当面の間は愛媛・岡山が連携し、有機的な結び付きをもって海外VCやスタートアップの取次ぎを行う。

コンソーシアム形成時においては、瀬戸内エリアの他自治体およびBLAST SETOUCHI等民間団体参画を想定しており、役割分担の最適化を検討する。(海外VC・カンファレンスの窓口はBLAST SETOUCHIが担当する等)

瀬戸内エリアとしてコンソーシアム形成を行うメリット

① 『BLAST SETOUCHI』等の民間主導の広域連携がすでに進展し、盛り上がりを見せている

近年、愛媛エリア・岡山エリアを含む瀬戸内地域においては、民間主導によるスタートアップ支援の広域的な連携が進展している。2022年に愛媛県で開始されたBLAST SETOUCHIは、「波のない瀬戸内に波を立てる」という理念の下、2023年に岡山県、2024年には大分県で開催され、2025年には香川県での開催が予定されている。同イベントには起業家、投資家、大企業経営者等が参加し、地域を越えたネットワーク構築や新たな協業事例が生まれており、官民の更なる連携促進が期待されている。



② 「SETOUCHI」の海外認知度、ブランド力が活きる

瀬戸内国際芸術祭: 3年ごとに開催される「瀬戸内国際芸術祭」は、国内外から多くの芸術愛好家を惹きつけ、直島や豊島などのアートの島々は世界的に有名となっており、瀬戸内地域の文化的な魅力を世界に広める上で大きな役割を果たしている。

広域DMOの活動: 「せとうちDMO」のような官民連携の組織が、瀬戸内地域の観光振興に力を入れており、多言語での情報発信(ウェブサイト、SNSなど)、海外メディアへの情報提供、プロモーション活動を通じて、認知度向上に貢献している。

自治体に求められる役割は、県・市境を越えた連携による **地域一体の面的支援**
瀬戸内エリア全体を「**巨大な実証フィールド**」として、プレイヤーの呼び込みと成長促進を行う

広域コンソーシアム形成により期待される大学発スタートアップ創出の加速

愛媛大学・岡山大学の研究シーズと大学発ベンチャーによる連携

愛媛大学および岡山大学は、海洋科学、生命科学、医療、農学、AIなど特色ある研究分野において全国的な強みを有し、大学発スタートアップの創出も進んでいる。これらの分野や人材、支援機能を相互に補完することで、新たな産業創出や広域的なスタートアップ支援が期待される。今後、両大学と連携の可能性を探りつつ、研究シーズやベンチャー企業の広域的な成長支援の可能性を探る。

大学の強み

愛媛大学: 海洋科学、水産資源、ブルーエコノミー、プロテオミクス(生命科学)、スマート農業

岡山大学: 医療・ヘルスケア、AI・ICT、農学・植物科等

- ・『海洋・環境×エネルギー』

愛媛大学が先導するブルーエコノミー(次世代養殖・環境)研究と、岡山大学の再生エネルギー・環境材料研究を組み合わせる

- ・『農学・食料×IT』

愛媛大学のスマート農業・食品機能研究(例: 植物工場、農業用ロボット)と、岡山大学の植物科学・考古学(伝統作物復活等)を繋げる

- ・『医療・バイオ×先端材料』

愛媛大学はプロテオーム解析や創薬ベンチャー育成の実績があり、岡山大学は医療・ヘルスケア分野に強みがある

連携の可能性

岡山市のスタートアップ企業と愛媛県地域企業による大学の研究シーズを活用した連携実践例

令和6年度「えひめスタートアップ共創促進事業(EHIME新事業ラボ)」において、岡山市のアグリテック企業である株式会社WAKUと、野菜接ぎ木苗生産量国内シェア1位の愛媛県内上場企業ベルグアース株式会社がマッチングした。両者は岡山大学の研究シーズを活用し、高機能肥料の共同開発に2025年より着手している。



愛媛県の事業により
マッチングし共同開発中



株式会社WAKU(岡山)



ベルグアース株式会社(愛媛)

I. 全体ビジョンについて

コンソーシアムのKPI

各コンソーシアムの特徴を活かした上で計測が可能な「スタートアップ創出数」と「J-Startup(地方版含む)選定件数」を共通KPIとして設定

各コンソーシアムは分科会形式で個別KPIを掲げ、各事業を推進

瀬戸内スタートアップ コンソーシアム

愛媛

EGFコンソーシアム

愛媛ブルーエコノミー分科会

(水産、造船・海運、水管理産業等ブルーエコノミー市場で活躍するスタートアップ)

岡山

岡山イノベーション コンソーシアム

岡山イノベーション分科会

(アトツギベンチャー、ソーシャルビジネス、研究開発型スタートアップ)

共通 KPI	現在地 (2024年度末)	中間KPI (2027年度末)	最終KPI (2029年度末)
スタートアップ創出数(累計)	123社 (愛媛67+岡山56)	190社 (愛媛100+岡山90)	250社 (愛媛120+岡山130)
J-Startup選定件数(累計) ※地方版含む	14社 (愛媛4+岡山10)	21社 (愛媛9+岡山12)	30社 (愛媛15+岡山15)

愛媛 KPI	現在地 (2024年度末)	中間KPI (2027年度末)	最終KPI (2029年度末)
スタートアップ創出数(累計)	67社	100社	120社
J-Startup選定件数(累計) ※地方版含む	4社	9社	15社
オープンイノベーションによる 新事業の創出数(累計)	4件	15件	30件

岡山 KPI	現在地 (2024年度末)	中間KPI (2027年度末)	最終KPI (2029年度末)
スタートアップのEXIT (株式上場や事業売却)(累計)	未計測	3社	5社
研究開発型スタートアップ 輩出(累計)	未計測	20社	50社
「アトツギ甲子園」 ファイナリスト輩出(累計)	4社	9社	14社

瀬戸内スタートアップコンソーシアム

愛媛ブルーエコノミー分科会



愛媛県

コンソーシアム等の名称： 愛媛グローバル・フロンティア・コンソーシアム

I. 全体ビジョンについて

1. スタートアップ・エコシステム形成の目標・KPI

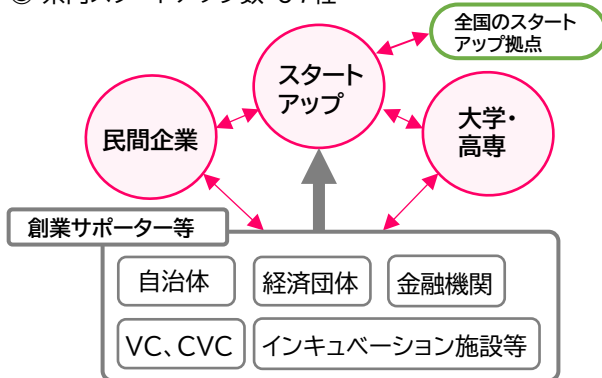
(1)エコシステムの現在地と5年後の目指す姿

- 愛媛県では、えひめ産業振興財団に設置した創業相談窓口や中小企業応援ファンドの組成、インキュベートルームの提供を通じてイノベーション創出や新規事業の成長を支援するとともに、平成30年度から、オール愛媛体制で创业者のステージに応じて支援する「愛媛グローバル・フロンティア・プログラム（EGFプログラム）」を実施。令和5年度から起業家やスタートアップが参加するスタートアップコミュニティを立ち上げ、情報発信や毎月のイベントの開催、交流機会の創出のほか、創業サポーターである民間企業、金融機関、支援機関等と連携した相談・支援に取り組んでいる。
- また、地元金融機関主体のビジネスプランコンテストや地方版未踏人材の発掘・育成、オープンイノベーションの推進に加え、大学を中心とするアントレプレナー教育の充実やイノベーション拠点の整備が進められてきた。
- 更に、令和8年度には、新たな県庁舎に官民共創拠点が完成する予定であり、スタートアップ・民間企業等との共創を促進するほか、県内外の共創拠点、スタートアップ支援拠点とのネットワークを形成し、イノベーションの創出に取り組むこととしている。

現在地（拠点都市選定前）

【KPI(現状値)】

- ① J-Startup(地方版含む)選定件数:4社
- ② オープンイノベーションによる新事業件数*:4件
※県事業による創出件数
- ③ 県内スタートアップ数:67社



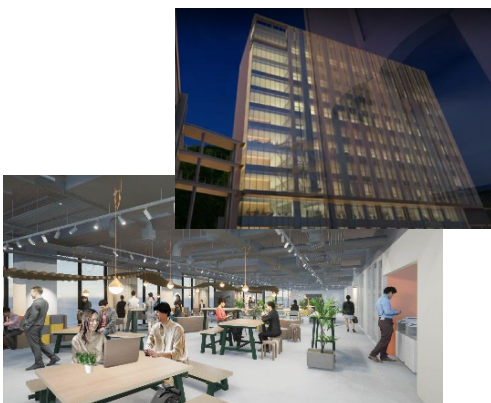
- 自治体、経済団体、金融機関が緩く連携し、国内のエコシステムビルダーと関係を深めながら積極的なプレイヤーが出てきている段階。

3年後(2027年)のKPI

【KPI】

- ① J-Startup(地方版含む)選定件数:9社以上
- ② オープンイノベーションによる
新事業件数:15件以上
- ③ 県内スタートアップ数:100社以上

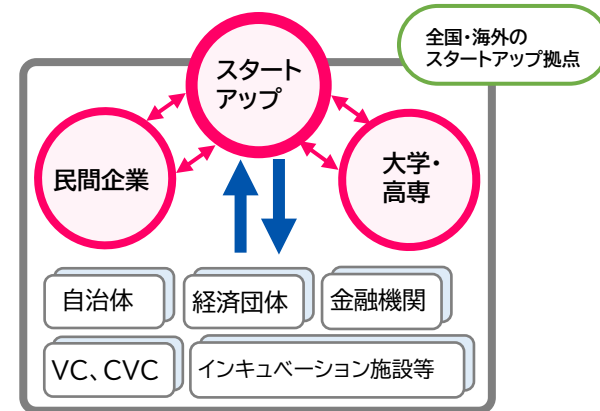
2026(R8)年 4月 新庁舎官民共創拠点開設



5年後の姿(2029年)

【KPI】

- ① J-Startup(地方版含む)選定件数:15社以上
- ② オープンイノベーションによる新事業件数:30件以上
- ③ 県内スタートアップ数:120社以上



- 多様なステークホルダーと信頼関係が構築され、複層的な協力体制が強化されている状態。

ブルーエコノミーの聖地を目指せ ～海洋えひめイノベーションの推進～

日本でトップクラスの水産、造船・海運、水管理産業を強みに、海洋再生エネルギー、海底ケーブル、海洋廃棄物対策等の産業集積を後押しし、世界的に成長・拡大が見込まれる**ブルーエコノミー**※領域の聖地で活躍。 ※海洋環境や海洋資源の保全に取り組みながら持続可能な経済活動を行うこと

既存事業

より強く

海洋生物資源

- 捕獲漁業
- 養殖業 **793億円/No.1**
- 水産加工業
- 流通・小売業



観光資源 海洋非生物資源

- しまなみサイクリング
- 遊漁、岸壁釣り
- クルージング
- 景色、レジャー
- 塩



造船・海運関係

- 造船
- 船舶関連機器
- 船舶修理
- 海上輸送関連サービス



港湾活動

- 港湾サービス
- 荷役
- カーボンニュートラルポート
- 藻場、干潟の保全



新規・革新事業

より早く

- ① 産学官が連携し、既存産業はより強く、新規・革新産業はより早く成長できるよう共創
- ② 研究者と企業が愛媛のフィールドで最新の研究に取り組み、新事業を創出する
- ③ ブルーエコノミーに関する最先端の情報は愛媛に集まり、愛媛から発信される



海洋再生可能エネルギー

- ・洋上風力発電
- ・海洋エネルギー発電
- ・浮体式太陽光発電
- ・ブルーカーボン

海底ケーブル 海洋鉱物 ブルーバイオ(海藻等) 海洋廃棄物処理 海水淡水化 海洋生物環境対策

1. 首長の方針



愛媛県知事 中村 時広

地元金融機関等と連携して創業支援を行う「愛媛グローバル・フロンティア・プログラム」をより地域の課題と連結させるほか、研究開発型スタートアップ企業の誘致や大学発ベンチャーの創出を図るなど、四国一のスタートアップ県を目指す。

【R4.11月 知事公約】

直近の方針

- 地域経済の活性化はもとより、複雑化する社会課題の解決に挑戦するプレイヤーとして、スタートアップや大学発ベンチャーへの期待が高まっている。しかし、その多くは大都市圏を活動の拠点とする傾向にあり、本県発のスタートアップ・大学発ベンチャーを創出・育成するとともに、県外からも積極的に呼び込むには、愛媛を拠点に持続的な事業成長に取り組むことができる環境整備が重要。

【R6.10.30 愛媛大学 E.U.Innovation Commons 開所式祝辞】

- 国際情勢の不安定化や急速な少子化・人口減少、デジタル技術の驚異的な進化等、大きな変動要因に直面しており、経済の持続的な発展を図るには、官民が共創してイノベーションを創出するとともに、若手人材の挑戦と成長を地域一体で支援していくことが重要。

【R7.2.1 地方版未踏事業「LEADING EDGE 四国」最終報告会 知事メッセージ】

- DX・官民共創の推進については、デジタル人材の育成・確保を図りながら、デジタル技術を駆使したDXを推進するとともに、8年度に開設いたします官民共創拠点を県内経済の活性化へ結び付けられるよう、運営体制の構築や官民ネットワークの強化に、この時点から取り組みを進めていきたいと思います。
- 地域産業の新たな活力の創出として、愛媛グローバル・フロンティア・プログラムにより、ビジネスアイデアの募集・表彰から新ビジネスの創出まで一貫支援し、本県での創業を促進するとともに、専門家の伴走のもと、ニーズに応じた集中的な支援を行い、愛媛からのスタートアップ創出を目指すほか、首都圏等のスタートアップと県内企業をマッチングし、新事業創出につなげていきたいと思います。

【R7.2.18 令和7年度当初予算案等に関する記者発表】

2. 総合計画におけるスタートアップ施策の位置づけとKPI・KGI

愛媛づくりの方向性

人

次世代を育み、
誰もが活躍できる愛媛県

経済

“稼ぐ力”を高め、
県民所得が向上した愛媛県

暮らし

安心・安全で
快適に暮らせる
持続可能な愛媛県

政策4 地域の稼ぐ力と県民所得の向上

施策16 製造業・サービス産業の成長促進と新企業の誘致

■ 愛媛グローバル・フロンティア・プログラムの推進による新ビジネス（スタートアップ）の創出

■ 従来の枠にとらわれない成長関連産業（機能性食品、高機能素材、ヘルスケア、AI、IoT等）の創出・集積

■ サテライトオフィスを契機とした本社機能等の誘致

KPI・KGI

KGI・KPI		基準値	目標値	備考
施策KGI	雇用者報酬及び企業所得の県内総額 (厚生労働省 毎月勤労統計により算出)	3,441,824百万円 (R元年度)	3,649,760百万円 (R8年度)	-
細施策KGI	開業率の全国平均との差異 (厚生労働省 雇用保険事業年報により算出)	△0.5%(R5年度)	△0.3%(R8年度)	(R5年度)全国平均 3.9% 愛媛県 3.4%
KPI	優良なスタートアップ※創出件数 ※J-Startup(地方版含む)	4社(R6年度)	9社(R9年度)	成果連動型スタートアップ 創出・育成事業の成果指標
KPI	新事業の創出件数 5件以上/年	4件(R5年度)	15件(R5～7年度累計)	えひめスタートアップ共創促進 事業の成果指標
現在のスタートアップ数		67社(R6年度)	100社 (R9年度) 120社(R11年度)	民間データベース掲載数

3. スタートアップ支援部署の体制

現状(R6年度)

愛媛県

担当部署	経済労働部産業支援局産業創出課
	創業支援・産業DXグループ
	常勤職員数 5名



連携部署	<技術振興・産学官連携> 経済労働部産業支援局産業創出課 技術振興グループ 5名
	<企業誘致> 経済労働部産業政策局企業立地課 8名
	<デジタル実装等> 企画振興部デジタル戦略局 デジタルシフト推進課 22名
	<官民共創拠点整備等> 企画振興部デジタル戦略局 スマート行政推進課 19名

将来想定(R11年度)

愛媛県

担当部署	経済労働部産業支援局産業創出課
	創業支援・産業DXグループ
	常勤職員数 8名程度



官民共創拠点の運営等、関連事業
との一体的な体制整備も視野

連携部署	<技術振興・産学官連携> 経済労働部産業支援局産業創出課 技術振興グループ
	<企業誘致> 経済労働部産業政策局企業立地課
	<デジタル実装等> 企画振興部デジタル戦略局 デジタルシフト推進課
	<官民共創拠点整備等> 企画振興部デジタル戦略局 スマート行政推進課



4. スタートアップ支援事業にかかる予算

(1) 総予算額

年度	予算額
令和6年度	109,715千円
令和7年度	176,429千円
令和8年度以降	官民共創拠点の運用開始やこれまでの実績を踏まえ、増額要求を検討



将来想定(令和11年度時点)

「公共調達の促進」及び「東アジア・東南アジアのスタートアップエコシステムとの連携」等の取組みを強化
⇒ 更なる増額を想定(令和6年度比:2~3倍程度)

(2) 主な支援事業と支援実績

■ 令和6年度

事業名	予算額	概要	支援実績
愛媛グローバル・フロンティア・プログラム推進事業費	58,915千円	■ スタートアップ育成プログラムの実施 ■ 起業家コミュニティの運営 ■ アクセラレーションプログラムの実施 ■ 起業支援金の支給	■ H30~R5の6年間で205件の創業創出 ■ 過去参加者から2社がJ-Startup WESTに選定
えひめスタートアップ共創促進事業費	25,395千円	■ 県内企業とスタートアップによるオープンイノベーションを支援	■ R5~R6の2年間で県内企業延べ22社が参加 ■ R7.1時点で9件の事業化・実証実験に繋がる
若手IT起業家創出支援事業費	25,405千円	■ 10週間の若手IT起業家育成合宿を実施	■ R4~R7の3年間で45名が参加 ■ R7.1時点で24名の起業家を輩出

■ 令和7年度

事業名	予算額	概要
愛媛グローバル・フロンティア・プログラム推進事業費	55,093千円	■ ビジネスアイデア創出ワークショップの実施 ■ ビジネスアイデアコンテストの開催 ■ 小中学生を対象としたアントレプレナーシップ育成
成果連動型スタートアップ創出・育成事業費	25,200千円	■ 成果連動型民間委託契約(PFS)方式を活用し、スタートアップの創出・成長に向けたアクセラレーションプログラムを実施
官民共創ネットワーク構築事業費	53,906千円	■ 起業家コミュニティの運営 ■ コミュニティマネージャー等の共創力強化・育成
えひめスタートアップ共創促進事業費	16,825千円	■ 県内企業とスタートアップによるオープンイノベーションを支援
若手IT起業家創出支援事業費	25,405千円	■ 10週間の若手IT起業家育成合宿を実施

Ⅲ. 中心となるコンソーシアムの取組

1. コンソーシアムの構成

愛媛グローバル・フロンティア(EGF)・コンソーシアム

目的	県内産業の国際競争力の強化、スタートアップの創出や成長を通じたイノベーションをオール愛媛体制で推進
構成	会長 愛媛県知事
	副会長 (公財)えひめ産業振興財団
	理事 愛媛大学、松山大学、伊予銀行、愛媛銀行、三浦工業
	オブザーバー 四国経済産業局
会員数	市町、県内企業・団体等 41団体
取組内容 (予定)	■ 産学金官の連携体制の強化 ■ 課題、強み、市場動向等の共有 ■ 構成員の特徴を生かした事業展開 ■ オール愛媛体制で、次世代人材・スタートアップを育成 ■ 産業情報・地域の魅力等の発信強化
	人材成長 - EGFプログラムの展開 - アントレプレナーシップ教育 - 未踏人材・若手社会人の活躍 等 
	事業成長・資金獲得 - アクセラレーションプログラム - インキュベーション施設整備 - ベンチャーファンド、融資 等 
	共創拡大 - 官民共創拠点の創設・ネットワーク化 - オープンイノベーション - SusHi Tech等への出展 

愛 媛 県

自治体 (50%)

県内20市町

経済団体・企業 (30%)

えひめ産業振興財団
えひめ東予産業創造センター
三浦工業(株)
(株)ダイキアクシス

他8社・団体

大学・高専(10%)

愛媛大学(6,549人)
松山大学(448人)
新居浜高専
(1,169人)
弓削商船高専
(713人)
カッコ内は、エンジニア、
理系学生・研究者の人数

金融機関(10%)

伊予銀行
愛媛銀行
日本政策投資銀行
いよぎんキャピタル

【オブザーバー】四国経済産業局

※県内の技術者・研究者数(R2国勢調査)
技術者 14,180人
研究者 440人

自律的に活動する多様なビジネス
コミュニティと横断的に連携

- EGFスタートアップコミュニティ
- 愛媛ニュービジネス協議会
- BLAST SETOUCHI

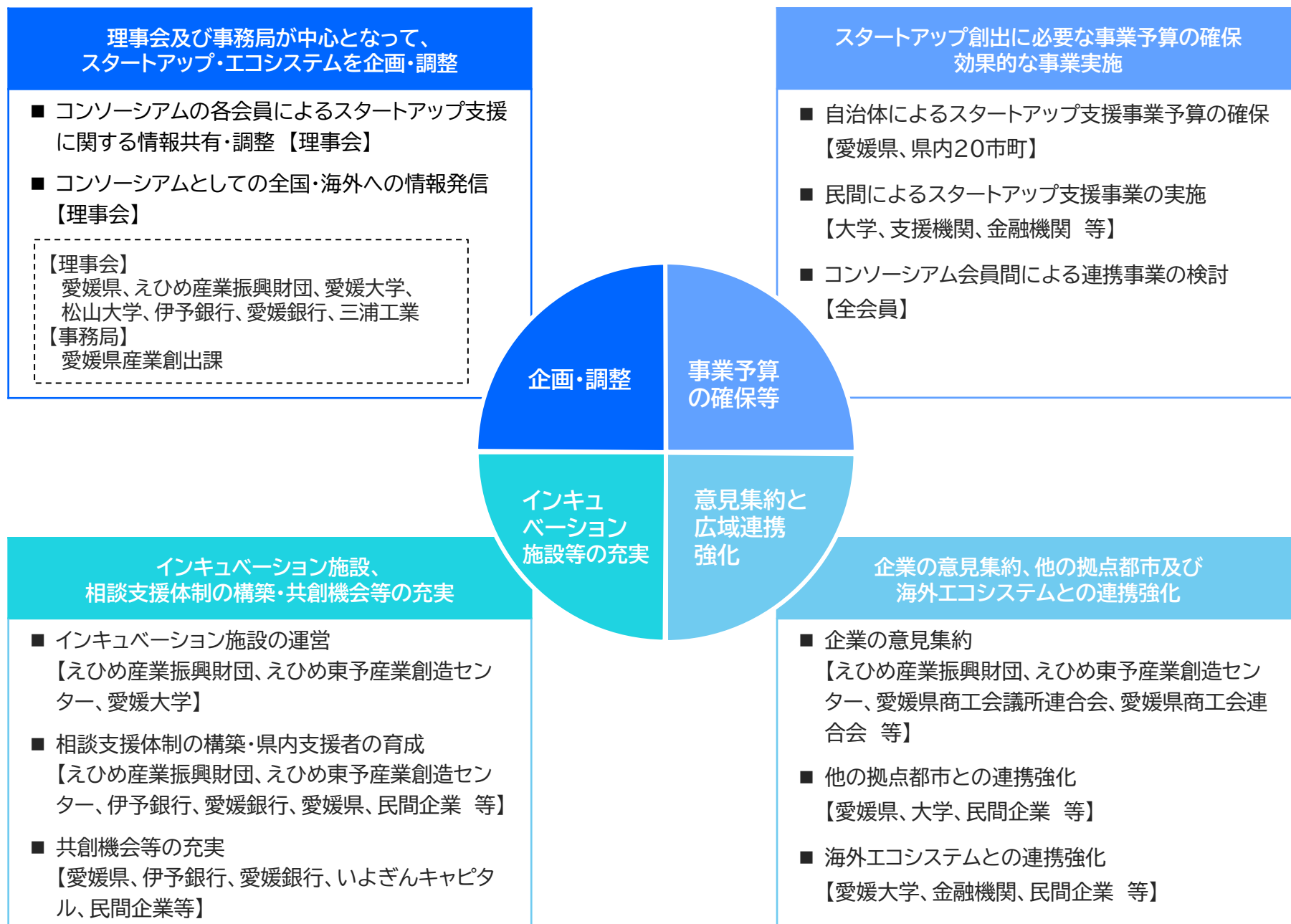
- たてヨコ愛媛
- 秀吉会

etc...

5年後を見据えた目指す方向性

自治体、大学、金融機関、企業が連携して人材成長等を支援するとともに、成長した人材・事業等が更に地域企業の活力向上や次世代育成につながる活動の循環を作り、持続的なエコシステムとする。

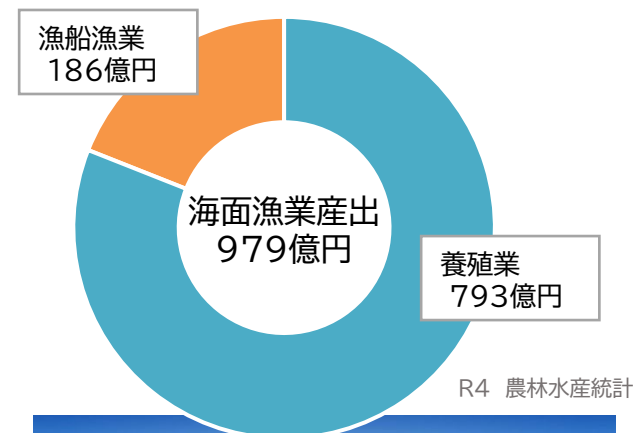
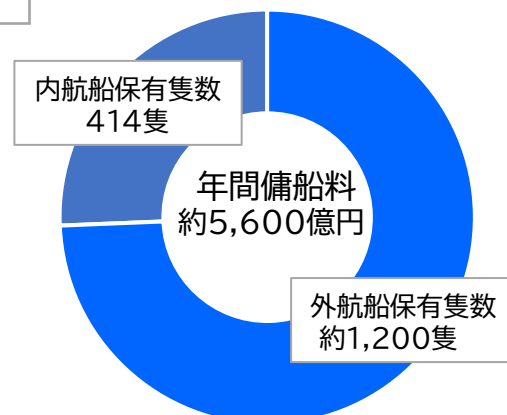
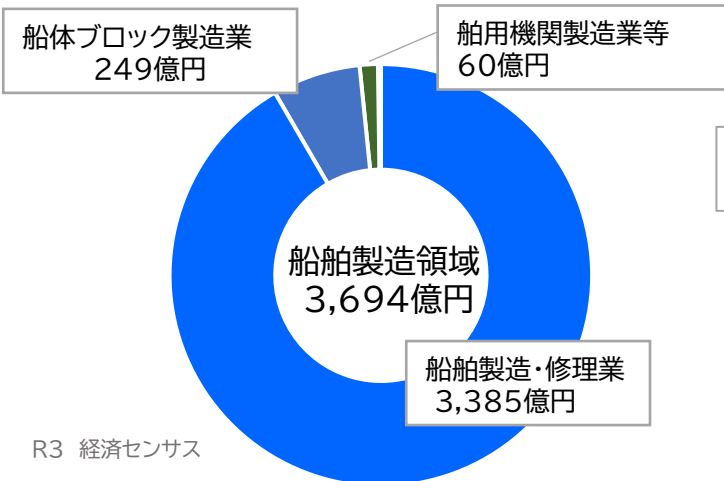
2. 各主体が担う役割



IV. 産業の特性

1. 注力する産業領域

ブルーエコノミー領域



R3 経済センサス

R4 農林水産統計

建造量国内第1位、世界第6位の今治造船(株)をはじめ、愛媛に実質本拠を置く造船業の国内建造量シェアは約3割、愛媛の外航船主の外航船保有隻数も国内全体の約3割を占める。造船所の周辺には船用メーカーと関連企業が集積する「日本最大の海事都市」だ。独自の操船制御技術やアンカーハンドリングウインチといった船用機器は国内外から高い評価を受け、世界中の船舶に導入されている。LNGや水素、アンモニアなどの次世代燃料の導入・普及で海運カーボンニュートラルの実現も期待される。

造船会社・グループ

檜垣造船 (今治) 近海船・タンカーなど	浅川造船 (今治) ケミカルカー・LPGタンカーなど
村上秀造船 (伯方島) ケミカルカー・アスファルト船 LPGタンカーなど	伯方造船 (伯方島) コンテナ船・タンカーなど
山中造船 (大島) 内航貨物船大手 年間最大20隻建造	波方造船所 (波方) 内航貨物船+修繕
藤原造船 (大三島) 小型フェリー・旅客船	栗之浦ドック (八幡浜) タンカー主力

J M U
新会社設立
三菱重工業
提携

今治造船グループ

今治造船 本社・今治工場 丸亀事業本部 西条工場、広島工場	岩城造船 しまなみ造船
多度津造船 南日本造船	新笠戸ドック あいえず造船

新来島どつくグループ

新来島どつく 新来島徳島どつく 新来島宇品どつく 新来島サノヤス造船	新来島波止浜どつく 新来島豊橋造船 新高知重工 新来島広島どつく
---	---

三好造船 (宇和島)



海面養殖業産出額

全国 **1位**

マダイ養殖生産量

33年連続全国 **1位**



瀬戸内海、宇和海という2つの海に面する愛媛県は、漁船漁業や養殖業が盛ん。特に養殖業では、漁業関係者のたゆまぬ努力により、豊かで美しく、かつ養殖に適した漁場を徹底管理している。その結果、種類豊富で高品質な魚を国内外へ提供しており、魚類養殖生産量で44年連続1位を獲得。名実ともに全国ナンバー1の水産王国である。また、愛育フィッシュ輸出促進共同企業体オレンジウェーブは、アジア・欧州・北米への高い輸出実績が認められ、農水省の「フラッグシップ輸産地」に認定されている。

2. 当該産業の可能性

海の豊かさを守り、活用しながら、ブルーエコノミー市場で活躍するスタートアップを創出し、2030年に約500兆円へ成長が見込まれる国際市場に挑戦

国内外の動向

日本

排他的経済水域と領海を合わせた面積

世界第6位



ブルーエコノミー市場規模
(2030年)

約28兆円



グローバル

ブルーエコノミー
市場規模(2030年)

約500兆円



陸地

地球
面積

海洋

約70%

国際
輸送

海上輸送

約80%

造船・海運テクノロジー

海事産業に根ざし、船舶のルールや運航環境を熟知した船用機器のトップメーカーでは、運航中の船内データをサーバに集積し、陸上からのリアルタイムモニタリングを実現するシステム「MaSSA-One」を運用。業務効率の向上やトラブル発生時の迅速な対応を可能にする。さらに、船舶関連企業が連携する「MaSSAパートナーシップ」を組成し、海事産業のDX化を積極的に推進。トラブル対応力の強化や未然防止の向上を目指し、より安全で効率的な運航を支援する。



MaSSA Insight -WADATSUMI

収集した船舶の運航データを、船上・陸上にリアルタイムにモニタリングできるWEBアプリケーション。200隻を超える大型商船に導入されており、船主、オペレータ、管理会社など幅広いユーザーが活用。船舶管理の効率化や運航パフォーマンスの向上に貢献している。



洋上風力発電(海洋再生エネルギー)

洋上風力発電分野は、世界的なカーボンニュートラルの機運の高まりなどにより、今後の更なる市場拡大が期待される。県内企業の高い技術力が生かせる有望な市場であり、2024年5月に「愛媛県洋上風力産業振興コンソーシアム」を設立し、市場への本格参入に向け、さまざまな取り組みを進めている。



造船・船用機器

- 浮体式製造
- 風車製造
- O&M(船舶)

大型製缶・機械加工

- 基礎構造(着床式・浮体式)
- 電気系統
- 風車製造
- 浮体式製造

運用・保守

- 風車製造
- O&M(船舶)
- ドローン活用

環境・ブルーバイオ、養殖テクノロジー

世界では、毎年800万トン以上のプラスチックゴミが海に放出されているといわれている。紫外線や波の作用によって直径5mm以下に微細化したマイクロプラスチック(以下:MP)は非常に小さく、回収が極めて難しい。県内の大手機器メーカーは、バラスト水による水生生物の海域移動を防ぐ処理装置に加え、フィルタ式MP回収装置を開発し、海洋環境保全に貢献している。愛媛大学南予水産研究センターでは、沿岸環境調査、水域情報システム、養殖魚の次世代育種システム、生産流通情報管理システム等の最先端のフィールド研究に取り組んでいる。



TRY ANGLE EHIME

愛媛県は、デジタル実装を推進するトライアングルエヒメにおいてスマート養殖に取り組み、海洋環境データを活用して生産性向上に挑戦中。



1. これまでの取組

愛媛県の取組

事業名	事業内容	取組の成果
愛媛グローバル・フロンティア・プログラム	スタートアップをオール愛媛でサポートする総合的支援プログラム。ビジネスプランコンテスト、アクセラレーションプログラム、アントレプレナーシップ育成等を実施。 #スタートアップに対する成長支援 #アントレプレナーシップ教育等を通じた人材育成	■ H30～R5の6年間で205件の創業創出 ■ 2社がJ-Startup WESTに選定
EGFスタートアップコミュニティ	起業家200名以上が参加するコミュニティの運営。 #アントレプレナーシップ教育等を通じた人材育成	■ R7.3時点で246名が参加 ■ 毎月のセミナー等を開催
えひめIT起業のススメ七十日間登竜門(DRAGON)研修	IT起業家育成のための、10週間短期集中合宿。 #アントレプレナーシップ教育等を通じた人材育成	■ R4～R6の3年間で45名が参加 ■ R7.3時点で31名の起業家を輩出
えひめスタートアップ共創促進事業費	県内企業×スタートアップによるオープンイノベーションの促進。 #オープンイノベーションの促進	■ R5～R6の2年間で県内企業延べ22社が参加 ■ R7.1時点で9件の事業化・実証実験
トライアングルエヒメ	県内の地域課題をデジタルの力で解決に導く、デジタル実装加速化プロジェクト。 #オープンイノベーションの促進	■ R4～R6の3年間で93のPJを採択 ■ 14社が県内への拠点設置

市町の取組

市町名	事業内容
松山市	■ スタートアップ支援情報サイト「モメンタム」の開設・運営 ■ 松山市・愛媛大学・三井住友信託銀行・NES連携協定 #スタートアップに対する成長支援 #アントレプレナーシップ教育等を通じた人材育成
今治市	■ 今治イノベーションコンソーシアム ■ 今治市地場産業振興センターの新施設(X-tech Lab Imabari) #持続的なエコシステム体制構築 #スタートアップに対する成長支援
新居浜市	■ にいはま起業家サロン ■ ワクリエ新居浜(インキュベーション施設含む) #持続的なエコシステム体制構築
西条市	■ LOVE SAIJOビジネスコンテスト #アントレプレナーシップ教育等を通じた人材育成
大洲市	■ 大洲イノベーションセンター ■ 大洲市高校生チャレンジプログラム #アントレプレナーシップ教育等を通じた人材育成
その他の市町	■ 起業セミナーの開催や起業支援金の支給等、様々な支援策を展開



大学・高専の取組

機関名	事業名・事業内容
愛媛大学	■ えひめ学生起業塾 次世代の起業家を育成・支援する多面的なプログラムを提供することにより、起業家マインドを醸成するとともに、実践的活動の場を提供。 #アントレプレナーシップ教育等を通じた人材育成 ■ ビジフェスEHIME2024 大学生、高専生、専門学校生、高校生等を対象としたビジネスプランの作成から発表までを一貫して支援するカリキュラム。 #アントレプレナーシップ教育等を通じた人材育成 ■ E.U.Innovation Commons 研究成果の社会実装を目指す大学発ベンチャーや連携企業をサポートするためのラボ機能を備えたインキュベーション施設。 #スタートアップに対する成長支援 #持続的なエコシステム体制構築
松山大学	■ えひめベンチャー起業塾 R6年度で11年目を迎える社会人・学生の垣根を超えた起業家育成セミナー。 #アントレプレナーシップ教育等を通じた人材育成
新居浜高専	■ チャレンジプロジェクト 学生たちで立案したプロジェクトの目標達成に向けて、新居浜高専で学んだ知識や技術を活かした活動を支援する独自プログラム。 #アントレプレナーシップ教育等を通じた人材育成
弓削商船高専	■ 高専グローバルキャンプ・海外インターンシップ 高専グローバルキャンプ等への参加のほか、タイ王国ナコンパム大学、国立モンゴル科学技術大学・動力工学学校等を訪問して現地交流。 #アントレプレナーシップ教育等を通じた人材育成

金融機関の取組

機関名	事業名・事業内容
伊予銀行	■ いよぎんビジネスプランコンテスト 地域経済の活性化、雇用創出に繋げることを目的とした革新的・創造的なビジネスプランを募集・表彰。 #スタートアップに対する成長支援 ■ 地方版未踏事業「LEADING EDGE 四国」 愛媛を代表する企業と四国にゆかりのある学生による課題解決・人材育成プログラム。 #アントレプレナーシップ教育等を通じた人材育成 #オープンイノベーションの促進
愛媛銀行	■ ひめぎん新規事業創出プログラム 地域中核企業とスタートアップとのオープンイノベーションによる新規事業創出プログラム。 #オープンイノベーションの促進 ■ えひめイノベーション起業塾 実践する起業家を生み出すための育成プログラム。 #スタートアップに対する成長支援

**ビジフェス
EHIME2024**
ビジネスプランコンテスト

まだ誰も見たことない世界、作りたくない？

～未踏的な地方の若手人材育成育成事業～

LEADING EDGE 四国

Make an Innovation

えひめイノベーション起業塾2024

「起業家同士の交流を深めよう！」

第11期～愛媛から、世界を目指そう！～

**えひめベンチャー起業塾
塾生募集！**

初
あなたの事業
開発をAIが
アシスト！

あなたの未来が芽吹く！
新たなビジネスプランを大募集！！
【応募期間】2024年4月3日(水)～2024年6月5日(水)17時まで

最優秀賞 **100万円**
優秀賞2名 各**30万円** 奨励賞5名 各**5万円**

第9回
**いよぎん
ビジネスプラン
コンテスト**
学生、女性起業家の活躍大歓迎！

2. スタートアップ・エコシステム形成に向けた今後の取組

スタートアップ・エコシステムの形成とイノベーション促進（想定期間2025～2030）

#オープンイノベーション促進

- えひめスタートアップ共創促進事業「EHIME新事業ラボ」（愛媛県）
- ひめぎん新規事業創出プログラム（愛媛銀行）
- 四国経済産業局事業との連携（想定）

#スタートアップに対する成長支援

- 愛媛グローバル・フロンティア・プログラム（愛媛県・拡大）
- 成果連動型アクセラレーションプログラム（愛媛県・新規）
- E.U.Innovation Commons（愛媛大学）
- いよぎんビジネスプランコンテスト（伊予銀行）
- えひめイノベーション起業塾（愛媛大学）

#アントレプレナーシップ教育等を通じた人材育成

- 愛媛グローバル・フロンティア・プログラム（愛媛県・拡大）
- えひめIT起業のステップ七十日間登竜門（DRAGON）研修（愛媛県）
- えひめ学生起業塾（愛媛大学）
- ビジフェスEHIME（愛媛大学）
- えひめベンチャー起業塾（松山大学）
- 地方版未踏事業「LEADING EDGE 四国」（伊予銀行）

EGFコンソーシアム
×
多様な主体が集まる
「官民共創拠点」

#持続的なエコシステム体制構築

- EGFスタートアップ・コミュニティ（愛媛県）
- コミュニティマネージャー等の共創力強化・育成（愛媛県・新規）
- 全国のスタートアップ支援施設・エコシステムとの連携（愛媛県・新規）
- EGFコンソーシアム内による連携強化（新規）

#グローバル化

- SusHi Tech Tokyo等、スタートアップ展示会への出展（愛媛県・新規）
- 東アジア・東南アジアにおけるスタートアップとの連携イベント開催（想定）
- 県内企業のネットワークを活用した海外展開サポート（想定）

#公共調達まで繋がる取組の充実

- 愛媛県と首都圏スタートアップとのミートアップイベントの開催（愛媛県・新規）
- コンソーシアムにおける自治体担当者向け公共調達セミナーの開催（想定）

【アントレプレナーシップ教育の推進】

大学等・民間企業・自治体連携

#アントレプレナーシップ教育等を通じた人材育成

- 起業マインド醸成～起業準備、起業までをサポートできる複層的な支援体制で、学生のアイデアと挑戦を後押し。
- コンソーシアムのネットワークを活用し、各プログラムの大学横断展開、民間組織の参画を促進し、グローバルで活躍するアントレプレナーシップ人材を輩出する。
- コンソーシアムがネットワークを持つサポーター人材を各プログラムに派遣し、起業プラン化支援・事業成長支援について重点的にフォロー。

松山市、三井住友信託銀行株式会社及びNES株式会社が起業家教育及び起業支援に関する連携協定を締結。学生・研究者を対象とした一気通貫型の「愛媛大学起業家育成プログラム」を展開！

【起業家育成、未踏人材の発掘・育成】

大学等・民間企業・金融機関・自治体連携

#アントレプレナーシップ教育等を通じた人材育成

- 愛媛県を代表する企業から出された未来への課題(クエスト)に本気で立ち向かう「未踏的な地方の若手人材発掘事業」を核に、革新的なアイデアを形にする人材を発掘育成する。
- 産学官連携を促進し、研究シーズからPOCまでを着実にサポート。
- 学生・研究者と企業、VCとのつながりを醸成するイベントを実施。

伊予銀行、愛媛大学、アंकアンドパートナーがタッグを組み、四国にゆかりのある若手人材を力強く後押し。まだ誰も見たことがない世界を作る大いなる挑戦！

【創業・アトツギベンチャー支援】

産業支援団体・金融機関・自治体連携

#スタートアップに対する成長支援

- アトツギの新たなチャレンジを支援する伴走支援プログラム「WAVE(ウェーブ)」の効果的な実施に協力。新規事業創出に向けた事業。
- アイデアの具現化を応援。
- 各地の特色を生かした創業支援に加え、地域連携可能な支援メニューを検討し、グローバルで高い成長目標を持つスタートアップ人材を育成する。

中予地域…県内外から集まる人・モノ・情報を活用する多機能エリア
東予地域…ものづくり産業、魅力ある自然や歴史文化と地域発展
南予地域…豊かな自然と情緒あふれる癒しの交流促進エリア

【オープンイノベーション、社内スタートアップの創出】

民間企業・金融機関・自治体連携

#オープンイノベーション促進

- 企業のオープンイノベーションによる新規事業創出とスタートアップ・フレンドリーな経営体制・カルチャーを醸成し、双発的なイノベーションを促進。
- コンソーシアムでの情報交流を活発化し、各社において起業家精神を持つ人材を育成し、イノベーションや社内スタートアップ創出、M&Aを図る。

愛媛銀行とKPMGジャパンが協力し、愛媛県内の中核企業の多様な事業領域、豊富な経営資源(リソース)と全国のスタートアップの特徴ある技術・サービス・ビジネスアイデアを結びつけるオープンイノベーションにより、新規事業を創出！

【リスクマネー供給の多様化】

金融機関・産業支援団体・自治体連携

スタートアップに対する成長支援

公共調達まで繋がる取組の充実

- 県内外を活動拠点とするベンチャーキャピタリスト等の支援家人材とのネットワーク強化。
- シード期を支える調達環境の整備
(クラウドファンディング/GAPファンド/デット/エクイティ)
- BLAST SETOUCHIやEGFプログラムをはじめとするスタートアップイベントやピッチ機会の多様化と投資家と顔が見えるネットワークの構築を強化。

自治体担当者とスタートアップのミートアップイベントを開催するとともに、トライアングルエヒメ(約10億円/年)を活用し、スタートアップが有する最先端のデジタル技術の実装を促進！

【共創の場づくり】

持続的なエコシステム体制構築

民間企業・経済団体・自治体連携

オープンイノベーション促進

- 県庁内の計3フロアに官民共創拠点を開設し、革新的なアイデアや共創の取組を全庁横断的に促進。
- コンソーシアムのネットワークを生かした情報収集と意見交換を促進し、国内外の動向を先取りした人材育成、資金供給、事業拡大を検討。
- 国内外の共創拠点と広く連携し、スタートアップの活動機会を拡充。



【アクセラレーション、グローバル化の推進】

経済団体・金融機関・自治体連携

グローバル化

スタートアップに対する成長支援

- 起業家・スタートアップ・大学発ベンチャー等が抱える多様なニーズに応じた集中的支援を実施し、愛媛発のスタートアップを創出・育成する集中支援事業をPFS(成果連動型民間委託契約)方式により推進する。
- 大学や金融機関、JETRO等のサテライトオフィスと協力し、海外エコシステムとの連携とスタートアップのグローバル化を促進する。

愛媛県が実施してきたアクセラレーションの成果を踏まえ、起業家の支援ニーズに応じ、専門性を持つ委託先を選定するとともに、成果に連動して委託費を上乗せするPFS方式で、成長スピードを加速！

【インキュベーション施設等の拡充】

経済団体・金融機関・自治体連携

持続的なエコシステム体制構築

スタートアップに対する成長支援

- 松山城周辺地域の都市再生緊急整備により、ビジネスオフィス、インキュベーション施設、コワーキング・スペースの高度化・多様化を促進。
- 都市機能強化により、グローバルに活躍するスタートアップの拠点化を推進。
- 民間のインキュベーション施設、コワーキング施設を積極的に支援し、各地にスタートアップの拠点となる「コミュニティ」の創造を促進。

- ・NTT松山一番町プロジェクト(約5,600㎡)
- ・いよぎん新本社ビル建替プロジェクト(約7,500㎡)
- ・JR松山駅周辺再開発事業(約167,000㎡)ほか

瀬戸内スタートアップコンソーシアム 岡山イノベーション分科会



岡山市
OKAYAMA CITY

コンソーシアム等の名称:岡山イノベーションコンソーシアム



I. 全体ビジョンについて

1. スタートアップ・エコシステム形成の目標・KPI

(1) 応募の背景(※全体共通ページに移動)

(2) エコシステムの現在地と5年後の目指す姿

現在地

岡山のスタートアップコミュニティは、有志の起業家達により自然発生的に生まれ、その盛り上がりにより自治体として岡山市が賛同する形で発展してきた。岡山市は令和元年8月に地元支援機関等と協力し、市内中心部にスタートアップ支援拠点「ももスタ」を開設。この拠点を中心に様々なスタートアップ支援を継続して実施したことにより、イノベーション創出の機運の高まりや、地元企業や大学等のステークホルダーとの関わりの増加など、一定の成果も現れてきている。

現地点において中四国エリアのスタートアップ支援は、全体としてまだ黎明期であるが、起業家主導によるスタートアップカンファレンス「BLAST SETOUCHI」も愛媛県から始まり、今年で4回目を迎えるなど「セトウチ」の合言葉で一体となって機運を高めている。

【岡山のスタートアップコミュニティの特徴】

- ① 起業家中心のコミュニティが瀬戸内エリアで形成されていること
- ② 起業を目指す大学生、中高生などが先輩起業家とシームレスに繋がっていること
- ③ スタートアップとアトツギベンチャーが同じコミュニティで切磋琢磨していること
- ④ 行政主導の官製コミュニティではないこと

主な実績(令和6年末現在・岡山県内)

拠点イベント開催回数	511回	スタートアップ創出数	56社
拠点のベ利用者数	13,265人	J-Startup WEST選定企業	10社
		スタートアップの公共調達件数	18社



5年後

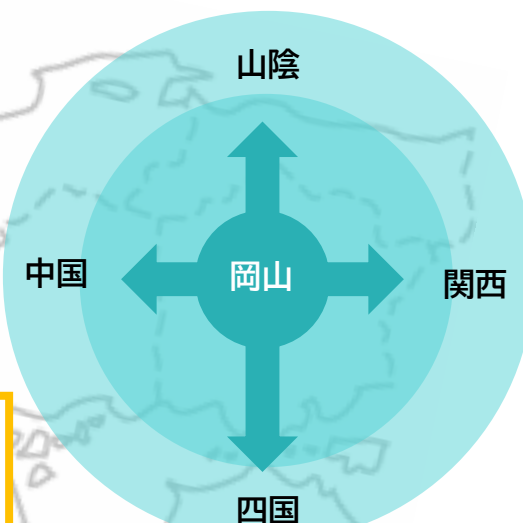
岡山市は全国屈指のESD教育に取り組んでいることや、医療先進地であることから地域社会が抱える地域課題、社会課題をシーズとしたソーシャルビジネス、大学や病院のシーズを活用した医療機関等を中心とした研究開発型スタートアップ、そして地方都市に多くの可能性の原石が眠るアトツギベンチャーの3軸の支援にシフトしていく。

更にはそのムーブメントを人口減少、高齢化など同様の課題を抱える瀬戸内地域に拡大し、「セトウチ」の名の下に結集したエコシステムを形成し様々なプレイヤーによるイノベーション創出を連続的に生み出すことで、世界の様々な課題にインパクトをもたらすモデルを輩出することを目指す。

例えば、目標となるKPI「研究開発型スタートアップ輩出」を達成するためには、「ももスタ」や岡山大学が新設した「KIBINOVE」などの支援施設でのプログラムを軸に、「人材育成」「資金支援」「事業化プロセスの加速」「CxO人材の確保・育成」の4本柱で段階的かつ戦略的に支援の強化に取り組んでいく。

目標となるKPI

	現在地 (2024年度末)	中間KPI (2027年度末)	最終KPI (2029年度末)
・スタートアップのEXIT(株式上場や事業売却)(累計)	未計測	3社	5社
・研究開発型スタートアップ輩出(累計)	未計測	20社	50社
・「アトツギ甲子園」ファイナリスト輩出(累計)	4社	9社	14社



I. 全体ビジョンについて

1. スタートアップ・エコシステム形成の目標・KPI

(3)世界に発信できるセールスポイント

自然と生活と課題が高次元で共存する 社会実証フィールド「セトウチ」

岡山が属する瀬戸内地域は日本初の国立公園です。瀬戸内海を囲む瀬戸内地域は自然災害が少なく、また温暖な気候に恵まれ、自然と調和して共存することに適している地域であり、その魅力に惹かれて近年では海外からも多くの観光客が訪れる地域となっています。

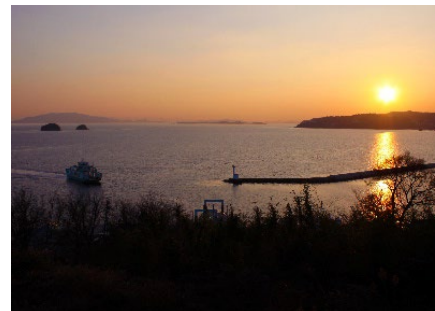
しかし、瀬戸内地域には深刻な公害をもたらした産業遺産が今も残り続けており、また近年では類を見ない急速な人口減少、高齢化問題など社会課題が山積しています。

こういった自然と社会課題、光と影が共存する瀬戸内地域は、これからの人間社会の本質を見つめ直し、新たな価値を生み出す可能性を持つと考えられ、実際に人口減少が進む瀬戸内の島々でアートと自然環境の組み合わせにより経済循環を生み出し地域を活性化した「瀬戸内国際芸術祭」は、イノベーションの創出において世界的にも注目を集める好事例であると認識しています。

上記のように、社会課題をビジネスの手法により持続的に解決するソーシャルビジネスを創出するにあたって、瀬戸内地域は社会実証フィールドとして世界にも発信できる格好の舞台であると考えています。

社会実証例

岡山市が令和4年度から取り組みを開始した先進技術社会実証事業「GovTech Challenge OKAYAMA」において、「海ごみはどこからやってくるのか」をテーマに、スタートアップ企業のAI活用サービスを用いて、ごみの発生源や堆積場所（ホットスポット）のモニタリングを実施。



岡山県観光連盟提供

Ⅱ. 地方自治体の取組

1. 首長の方針



岡山市長 大森 雅夫

失敗を恐れず、新しいチャレンジに取り組む挑戦者を応援する街でありたい

岡山のスartアップのカルチャーは、地元の起業家たちの情熱と持ち前の創造力に支えられ、その原点は有志の活動により築かれてきたことを誇りに感じています。

岡山市は、SDGs未来都市として、経済・社会・環境の面で「住みやすさ」に磨きをかけ、持続的に発展できる、活力と躍動感を創出するまちづくりに取り組んでいますが、その達成のためには、スタートアップやSDGsの取組等、経済活動における“イノベーション”の創出は欠かせないものです。

また、令和元年に開設したスタートアップ支援拠点「ももスタ」は、岡山におけるイノベーション創出支援の大きな転換点となったと自負しております。

「ももスタ」は、段階的に認知度を獲得し、現在では岡山のスタートアップのシンボリック存在として中高生などの若者にまで届いていることを嬉しく思っています。

岡山も例に漏れず人口減少など多くの社会課題を抱えています。しかし、このピンチをチャンスと捉え、こうした課題に立ち向かう挑戦者が続々と生まれてきていることに期待と喜びを感じ、更にその動きを加速させたいと考えています。

岡山市は、挑戦を称え、失敗を許容し、やがて大いなるイノベーションを生み出す。そんな魅力溢れる都市を創り上げていきます。また、それを岡山に留めることなく地方発のロールモデルとして全国に拡大していきたいと考えています。

それが私たちが目指す持続可能な社会実現への絶えざる挑戦です。

2. 総合計画におけるスタートアップ施策の位置づけとKPI・KGI

・総合計画における位置づけ

『岡山市第六次総合計画(平成28年～令和7年度)』では、スタートアップ支援を「将来都市像Ⅰ 都市づくりの基本方向1 政策1①」に位置付け、創業しやすい環境づくりや新産業の創出・育成に努めてきた。一方、現行計画にはスタートアップ施策に特化したKPI等の設定がないため、次期計画へは記載する方向で検討を進めている。

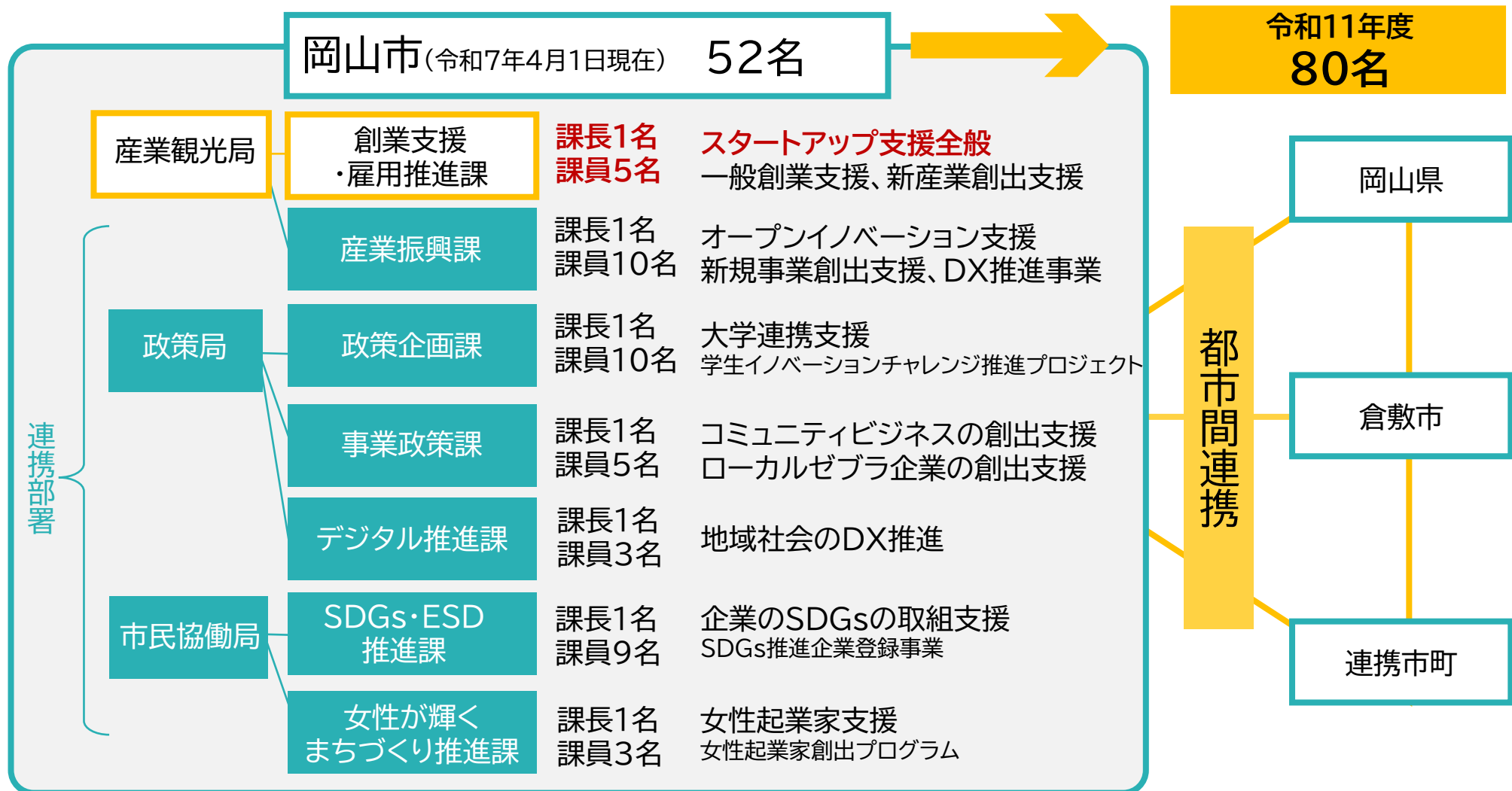
・市内のスタートアップ数の現状 50社(令和6年度末現在)

Ⅱ. 地方自治体の取組

3. スタートアップ支援部署の体制

令和4年度まで兼務2名であったが令和5年度より専属職員を5名に増加。更に、令和5年度より専属部署からの働きかけにより関連する部署を増加させた。

将来想定としては、専従職員を確保しつつ、イノベーション創出を支援する連携部署の増加を図り、**80名体制を目指す**。



Ⅱ. 地方自治体の取組

4. スタートアップ支援事業にかかる予算

(1)総予算額 総額 約3億4,000万円(令和元年度～令和6年度 合計)

令和7年度予算総額 1億2,750万円 ▶▶▶ 令和11年度 想定事業費の総額 約3億円

※「Ⅴ. 2スタートアップ・エコシステム形成に向けた今後の取組」をすべて実施する場合の事業費は、単年度約3億円と想定しているが、関係部署との連携、コンソーシアム連携組織のリソースの活用、国等からの財源確保、スタートアップ支援事業の効率化(スクラップ&ビルド)等により、今後の支援メニューの質・量の担保に努める。

(2)主な支援事業と支援実績(令和6年度末現在)

【コミュニティ形成支援】

・スタートアップ支援拠点運営 (令和元年度～) のべ利用者数 13,265人

【裾野拡大支援】

・スタートアップの裾野拡大イベントの開催 (令和元年度～) イベント開催回数 511回
・起業家教育プログラムの開催 (令和4年度～) プログラム参加学生数 449人
・学生起業家支援プログラムの実施 (令和5年度～) 大学生企画実施数 18回

【事業成長支援】

・スタートアップの成長プログラム実施 (令和3年度～) のべプログラム参加者数 721人
・全国のVCとのマッチングピッチイベント (令和5年度～) ピッチイベント開催回数 19回
・創業促進助成金 (令和6年度～) 交付件数 42件
・ビジネスプランコンテスト開催 (令和3年度～) 開催回数 4回

【公共調達支援】

・自治体オープンイノベーション公共調達事業 (令和4年度～) 社会実証件数 14件
実導入件数 18件



ビジネスプランコンテスト



公共調達社会実証の様子



起業家教育プログラムの様子

岡山市スタートアップ支援のあゆみ

令和元年度開設のスタートアップ支援拠点「ももスタ」から始まった岡山市のスタートアップ支援は、当初、裾野拡大イベントの開催と地元起業家による事業相談会、壁打ちをメインに支援を開始した。その後コロナ禍を乗り越え令和4年度から予算を大幅増額し、公共調達に向けた社会実証事業やアクセラレータープログラム、起業家教育プログラム等幅広いジャンルの支援を開始。現在では、他の支援機関等と連携し、起業を考える前段階の方からシード期のスタートアップまでを主な対象として網羅的な支援を実施している。

Ⅲ. 中心となるコンソーシアムの取組

1. コンソーシアムの構成

従前より岡山で支援に取り組んできた産官学金のステークホルダーと起業家などのキープレイヤーにより構成。

岡山市が、各ステークホルダー等のハブ的役割を果たす。

本コンソーシアムは、**岡山県内を主な対象エリア**とし、今後、瀬戸内スタートアップコンソーシアムのもと、瀬戸内地域を対象エリアとすべく中四国エリアへの拡大を目指す。

岡山イノベーションコンソーシアム

加盟数 33者(令和7年5月15日現在)

経済団体
・地元企業 5者
(23%)

- ・KOIA
- ・岡山商工会議所
- ・県産業振興財団
- ・両備グループ
- ・岡山ガス

自治体
・官公庁 6者
(27%)

- ・岡山市(会長・事務局)
- ・岡山県
- ・倉敷市
- ・中小機構中国支部
- ・JETRO岡山
- ・中国経済産業局
(オブザーバー)

大学等
研究機関 5者
(23%)

- ・岡山大学
- ・臨床医学研究所
- ・HelthTechHub中四国
- ・OI-Start
- ・岡山理科大学

域内各大学におけるエンジニア数・理系学生・研究者数
25,620人(13.6%)
岡山県人口1,888,432人

金融機関 6者
(27%)

- ・ちゅうぎんFG
- ・トマト銀行
- ・おかやま信用金庫
- ・ゆうちょ銀行
- ・ちゅうぎんCP
- ・瀬戸内と

その他 11者
・マスコミ、起業家 他

- ・山陽新聞社
- ・RSK山陽放送
- ・岡山放送
- ・テレビせとうち
- ・起業家代表
- ・アクセラレーター
- ・「ももスタ」運営委員会



吉備オープンイノベーション協会
(KOIA)会長 中島 基善



岡山市
岡山市長 大森 雅夫



岡山大学
学長 那須 保友



㈱ちゅうぎんフィナンシャルグループ
取締役社長 加藤 貞則



起業家代表
西尾 周一郎

5年後は瀬戸内エリアに拡大

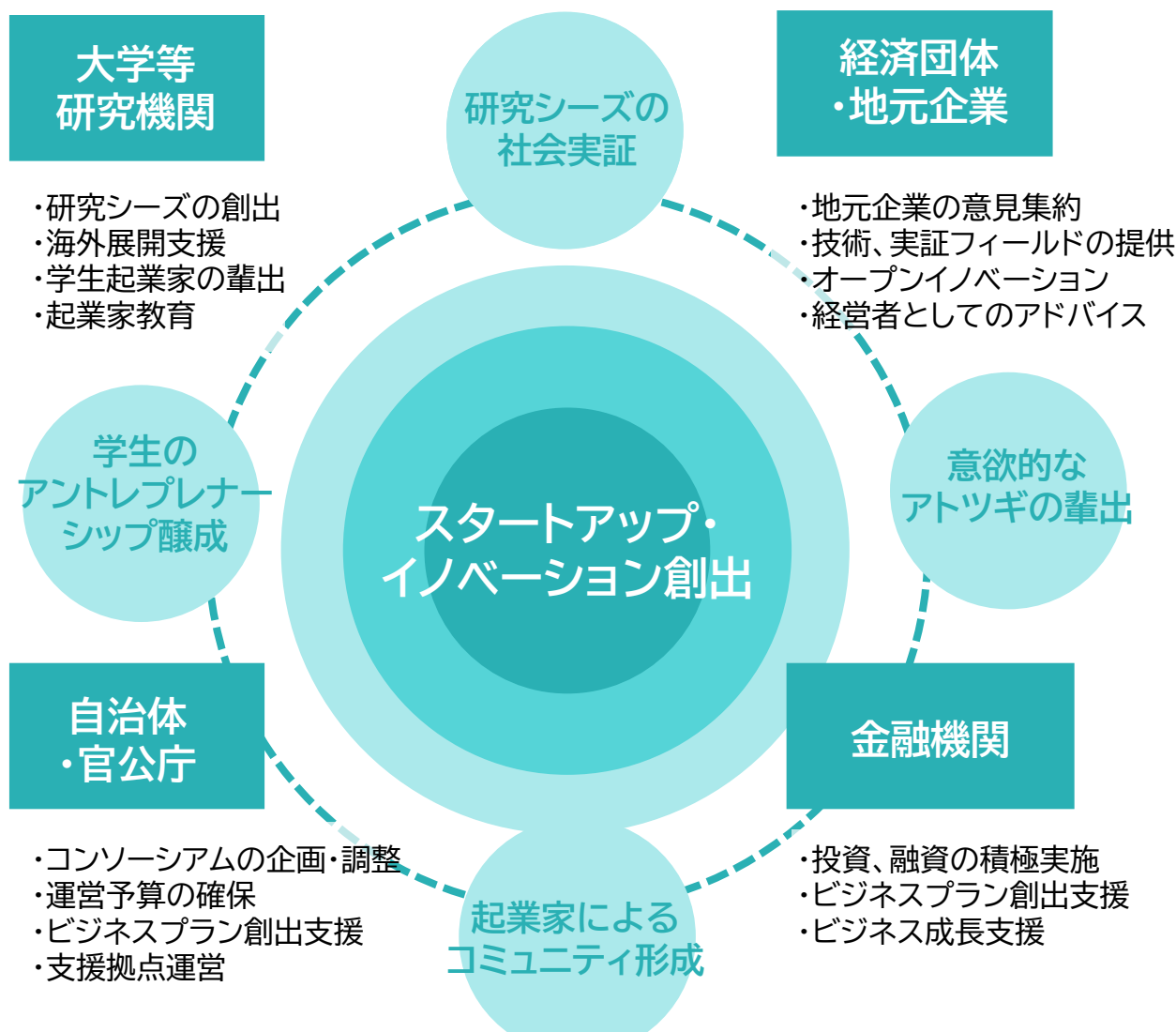
瀬戸内地域へのエコシステムの拡大に合わせて
それに応じたコンソーシアムの進化を目指す



Ⅲ. 中心となるコンソーシアムの取組

2. 各主体が担う役割

産官学の各主体が共に手を取り合い、それぞれの強みを活かし有機的に繋がりスタートアップに関わる関係性を作ることによって連続的にイノベーションが創出される強い地域エコシステムを造ることを目指す。



キープレイヤー



起業家代表 西尾 周一郎

私も育ててもらったこの岡山で、次世代の挑戦者を応援します。地域が連携し独自の発展をしてきた岡山のスタートアップコミュニティを更に盛り上げたいと思います。



ちゅうぎんキャピタルパートナーズ 取締役 石元 玲

岡山は起業家同士が有機的に結びつき、チャレンジを互いに認め応援しあうエコシステムが存在する。このエコシステムから世界を目指すスタートアップが既に出現しており、彼らの夢の実現に向かって、私も共に挑戦したい。



瀬戸内と株式会社 共同代表 藤田 圭一郎

瀬戸内エリアというゆるく多くの地域を包含するワードこそが瀬戸内最大の資産です。県を超えて挑戦者の背中を押し合えるような文化を作っていきたいと思っています。



瀬戸内と株式会社 共同代表 山田 邦明

少子化が叫ばれ、日本全体の若者比率が下がっている中、地方の学生に最も投資が集まっていないと思っています。ここを注力することで地方の価値が高まります。

IV. 産業の特性

1. 注力する産業領域

◆ヘルスケア産業領域・・・全国でも有数の先進的医療機関が存在していることで有名で、医者数、看護師数、病床数でもトップクラス

◆農水産業領域・・・岡山は農業県であり、モモやブドウなどのフルーツ生産が盛ん

◆製造業領域・・・水島工業地帯を中心とした石油石炭製品製造業、鉄鋼業に強み、児島地域の繊維工業が有名

(出荷額)繊維工業・・・224,372百万円、石油石炭製品製造業・・・2,049,713百万円、鉄鋼業・・・1,533,854百万円

※出荷額は2023年経済産業省経済構造実態調査

岡山エリアは、上記の産業領域において特徴があるが、本計画においては地元のプレイヤーの特性を鑑み、連続的にイノベーションが創出され、成長可能性のある事業領域に注力する。

アツギベンチャー

他地域と同様、後継者不足は地域経済の維持に当たって大きな課題となっているが、岡山では意欲の高い地元後継者同士が繋がり切磋琢磨するコミュニティが、自然発生的に形成されている。

地方の中小企業は可能性の原石であり、経営者が意欲的であれば大きく成長する可能性が十分に存在する。

同地域における民間の動きを増幅すべく支援を強化し、地域をけん引しグローバルに活躍する100年企業の創出を目指す。

ソーシャルビジネス ゼブラ・インパクト

ソーシャルビジネスは、現在世界的にもポストスタートアップの領域として、社会的インパクトの創出に関心が集まっている。

ソーシャルビジネスの市場規模は2015年時点で約2,400億円、3年後は約2.2兆円に拡大するとされており、今後重要な位置を占める産業領域と考える。

岡山は全国屈指のESD教育の先進地であり、若年層の社会課題への関心が非常に高く、この領域で連続的にイノベーションが創出される土壌が存在している。

研究開発型スタートアップ

上記のとおり岡山の医療からは多くのシーズが生み出される土壌があり、また、岡山大学医学部附属病院や倉敷中央病院などの先進医療によるイノベーションの創出が行われている。

特に医療領域において強いモメンタムが発生していることから、今後コンソーシアムにおいてビジネス化支援に注力した際にグローバルに大きく成長する可能性を持つと考えている。

多様なプレイヤーによるイノベーション創出の相乗効果

IV. 産業の特性

2. 当該産業の可能性

前述の3つの分野については、岡山において既に様々な起業家等の各プレイヤーが取り組んでおり注目を集めている。この可能性を秘めたモメンタムにブーストをかけるべく本コンソーシアムで支援に注力していく。

◆ソーシャルビジネス(ゼブラ・インパクト)

- ・岡山発のソーシャルビジネスは環境保全や人口減少社会などの社会課題を解決するビジネスで注目を集めている
- ・邦美丸は日本SDGsアワードで特別賞を受賞し、海外へ取り組みが発信されている
- ・エーゼロはインパクトスタートアップとしてSIIFより出資を受けている
- ・チット研究所代表は現役高校生ながら県内外数々のビジネスプランコンテストでグランプリを受賞している

ソーシャル
ゼブラ
インパクト



◆アトツギベンチャー

- ・民間有志によるアトツギベンチャーコミュニティが形成されていることが強み
- ・「アトツギ甲子園」に3年連続ファイナリストを輩出しており、そのアトツギ同士の活発な活動は全国的にも注目を集めている

アトツギ
ベンチャー

研究開発
スタートアップ

◆研究開発型スタートアップ

- ・岡山大学医学部附属病院や倉敷中央病院などは先進医療によるグローバルなイノベーション創出に積極的に取り組んでおり、ヘルステック分野で国内外からも注目を集めている
- ・岡山大学発のスタートアップである(株)C-INK、(株)フルエリアは、ILSスタートアップTOP100に選出されている

INNOVATION



(株)いえいろは



(株)マクラライフ



(株)若林平三郎商店



V. コンソーシアム内での取組内容

1. これまでの取組

機運醸成コミュニティ形成

【岡山市】・スタートアップ支援拠点「ももスタ」の運営
・ももスタへコミュニティマネージャーを配置
・裾野拡大イベント毎週開催
・中四国各都市との連携イベント開催
・地域活性化スペシャリスト講演会
・都市間連携ピッチイベント「ピッチ道場」

【倉敷市】
【臨床医学研究所】
【植田板金店】
【KOIA】
【CCP】
【瀬戸内と】

・高梁川クロッシング
・ヘルステックイベント「TOPPA」
・ビジネスマッチング施設ひとやね運営
・岡山イノベーション会議
・スタートアップキングダム主催
・瀬戸内スタートアップカンファレンス「ブラストセトウチ」
・ローカルメディア「セトウチスタートアップフラッグ」

起業家教育・学生支援

【岡山大学】・岡山大学起業部の創設
・岡山大学データサイエンス部の創設
・県内高校向け起業家教育講座「オレンジ」
・テックガレージ
【中国銀行】・中高生サイエンスキャスル
【岡山市】・学生事業創出プログラム「オレンジプログラム」
・中高生起業体験プログラム「飛行船」

ビジネス成長・海外展開支援

【岡山市】・アクセラレータープログラム「MoAP」
・岡山スタートアップアワード「OSA」
・ノーコードプロダクト開発プログラム
【岡山県】・後継者育成塾・後継者養成塾
・ベンチャーマーケット岡山
【中国銀行】・岡山イノベーションプロジェクト
【おかやま信金】・おかやましんさん地域活性化支援制度
「エリアサポート」
【岡山大学・JETRO】・グローバルイノベーションプログラム

オープンイノベーション促進・公共調達推進

【岡山市】・先進技術社会実証事業「GCO」
・オープンイノベーション活用支援事業
・新規事業創出支援事業
【両備システムズ】・両備オープンイノベーションプログラム
【KOIA】・イノベーションアイデア実証事業
【岡山大学】・研究シーズ社会実証プログラム「OI-Start」

研究開発・インキュベーション

【中小機構・岡山県・岡山市】・「岡山大インキュベータ」運営
【岡山県】・インキュベーション施設「ORIC」運営
【岡山大学】・医療系インキュベーション施設「BIZEN」運営
・次世代研究者挑戦的研究プログラム「OU-SPRING」
【臨床医学研究所】・ヘルステックイノベーションコンテスト
【中国銀行・リバネス】・テックプランター

V. コンソーシアム内での取組内容

2. スタートアップ・エコシステム形成に向けた今後の取組

まずは、コンソーシアム内の連携組織間で意見交換、情報交換、協業・共催により支援策の相乗効果を図る。
また、コンソーシアム参画組織を継続的に募集し、地域におけるイノベーション創出の機運を向上させる。
そのうえで注力する領域への支援強化として、下記の具体的な支援策を検討推進し支援の実効性を高める。

新たな資金供給手法研究・実践

ソーシャルビジネスの成長の時間軸、必要な資本の種類などに合わせた様々な資金供給手法を官民連携ファンドの組成など研究・実践していく

海外展開支援強化

JETROや海外展開に強みを持つ地元企業と連携し海外展開支援を強化する
姉妹都市制度を活用し北米・アジアとの拠点連携を推進する

実証フィールドの提供強化

地元企業や自治体などが保有するアセットをスタートアップに積極的に提供し、多くの社会実証が実施できる環境づくりを推進する

広域連携推進

瀬戸内地域のスタートアップコミュニティのハブとなるべく広域連携を積極的に推進する
巨大マーケットである首都圏連携を強化し事業成長の加速を図る

公共調達の推進

スタートアップの優れた技術やサービスを自治体へスムーズに導入するためのルールづくりを推進し、更なるスタートアップの成長と行政課題の解決を目指す

知財ビジネス活用強化

大学で未活用となっている知財をシーズとして利用する仕組みづくりを推進する
併せて経営人材と研究者のマッチングを推進する

